0116

(昭和十七年五月廿七日)

電 三二一 受信 時始 一八〇〇 八三〇〇 時了 一八五五 電 一〇〇九一 ─ 七六 航作 機 六〇

緊急

(済) 横空

作

(着) 五航艦FP

(発) 東通

機密第三二一六〇一番電 二分ノ一、二

宛 第五航空艦隊参謀長

通報 航本総務部長

五月下旬以降作戦部隊ニ対シ第五航空艦隊司令長官ヲ指揮官トシ当隊職員ヲ補佐官ノ主體トシ陸攻隊ノ喜界島班ニ分チ主トシテ電波兵器ヲ利用夜間雷撃術竝ニ関係電波兵器ノ整備取扱法ノ指導ヲ一基地約一週間宛実施セシメラルル豫定ニテ準備中ニ付左ニ関シ通知ヲ得度

一、期日竝約(陸攻艦攻班別)

二、要望事項ヲ詳細ニ鹿屋出張中ノ当隊伊藤中佐ニ傳ヘラレ度。

通 一二三三〇

呂一日ケ十一 (B) 横須 甲田・星野 (石井)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

五
三二
三三　受信 時始 〇二〇五〇　了〇二〇五　電 自一一〇〇五三 至一一〇〇五六　参謀作 機〇本

至急　（作）　略 共 符

宛 海護総戸、五、三各航空隊戸

（通）大海参一部

機密第三二一六二八番電 四分ノ一、二、三、四

UNB戦闘概報第一六號追加

「昨二十一日G偵察写真現像ノ結果全面ニ亘リ断雲アリ写真上ニ認メラルルモノ左ノ通

(一)アプラ港内特空母二隻（カサブランカ型）戦艦一隻（アイオワ型）大巡一隻軽巡一隻輸送船大型七?中型一六港外ニ輸送船中型一?隻

駆逐五隻

(二)第一飛行場（中央部約 $\frac{2}{3}$ 露出）小型機三八　一月二日ノ写真ニ

通 二三〇三・一三二〇 呂一B ケ十一（五二五〇）四通　志澤・永井（小林）(一)
秋葉・近藤

521

昭和十八年五月廿日起案

比シ滑走路中央幅七〇米ノ鋪装路アリ

(三)第二飛行場(北方誘導路ノ一部ヲ缺ク其ノ他露出)B－二九　四B－二四　一、中型機二、小型機三九　一月九日ノ寫眞ニ比ベ滑走路兩端誘導路及廻造成シアリ

(四)第三飛行場(滑走路約半分及掩體地區大部露出)B－二九　二三機B－二四　四六機　二月十二日應急修理中ナリシ掩體誘導路完成シアリ

(五)第四飛行場(滑走路中央半分缺)B－二九　六四機B－二四　二機小型機六機　二月十二日ノ寫眞ニ比シ北方ニ滑走路一本(以前ノモノト何レモ長サ二、六〇〇米内鋪装二、八〇〇米)掩體地區完成

(六)第五飛行場(傾斜寫眞南西部半分露出)滑走路二本(内一本增設中)誘導路二本造成中其ノ兩側外方更ニ伐採中

(七)一月三日一月九日ノ寫眞ハ軍令部發行「マリアナ方面敵飛行場建設狀況」ニ、二月十二日ノモノハ當方採雲偵察ニ依リ)

三、今次ノ飛行機便ニテ寫眞送付ノ豫定。

（昭和十九年五月廿二日）

五 二二 受信一七四〇八
訳始二〇一〇・ 訳了二二一五 電一〇九四一 航作 概本〇

（機密） ヤップ航空基地

（機密） 五基地航空部隊戦闘概報着信艦所

（機密） 三〇特根 ▷

機密第二二一六四五番電

戦闘概報（五月二十二日）

一、〇八一五－〇九一五グラマン－SB二C－１ 八機六〇度ヨリ飛来航空隊附近投弾後九〇度ニ去ル 其ノ他目視飛溯PBM－１

一B－二四 一機

二、戦果ナシ被害A（―（機密）―） GRU五〇本焼失

三、一四〇〇東三米薄雲全雲量七積雲下層雲量七積雲 雲高一二〇〇

雲向東視界八浬。

廻一三十八 呂十日ヲ十八（一五三一〇ン）[illegible]

0119

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0120

（昭和拾年五月廿七日）

五　二二　受信一八五八　譯始二〇二五　譯了二一三五　電一一〇六六　作戦〇　航本　参本

至急　（暗）母島警備隊

発　機通・父根▷

宛　東通。木更津空華世

機密第三三一六四五番電

「常」隊機密第二三〇八〇五番電中「母島ノ一五〇方向ニ」トアルハ「母島ノ二五〇度方向ニ」ト訂正ス尚本暗號ハ五七・五二・三・五二ケ一ニテ作成シアリ。

通一二三五四　天一日ケ七（五一〇〇四）母警　補本（五、四）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

下 二三 着信〇一四六 開始〇二一〇 譯了〇四〇一 電一一〇五〇 作戰 概力〇

至急 帝 南 通 秘 共 符

機密第二二一七三〇番電

發 高雄警備府參謀長

宛 大本營海軍參謀部第一部長 軍務局長 GB參謀長

通報 大本營海軍戰力補給部長

先島群島方面補給ノ爲呉宛輸送艦又ハT型輸送艦ノ配屬方電請シタル所其ノ後同方面ノ彈藥糧ニ缺乏ニ瀕シツツアル情況ニ鑑ミ輸送潜水艦ニ依ル緊急輸送ト共ニ前記要請ノ實現促進方重ネテ配慮ヲ得度。

通一二三九七 呂一日午十一（四七〇五〇）高通 秋葉（松山）

昭和廿年五月廿一日

0121

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0122

昭和廿年五月廿七日

五　二二　受信二二〇五　譯了〇一〇一　電一一〇〇九　作　稿
譯始〇〇一五

緊急　㊙　第七艦隊尸

525

㊫　海軍總隊尸・呉鎮尸・佐鎮尸
㊔　海上護衛總尸・呉防戰隊・下關防備隊

機密第二二一七三七番電

宛發　參謀長

部埼南東海面ニ對スル敵機ノ機雷敷設監視及掃海ノ實施ハ當艦隊ニテ行フヲ便ト認メラルルノミナラズ關門方面ノ航行管制上現境界ハ不便ニ付呉鎮七Fノ擔任境界ヲ本山岬ト神島トノ連結線ニ變更方御取計ヲ得度　取敢ズ明二十三日ヨリ部埼南東海面ノ掃蕩ハ當艦隊ニテ協力實施ノコトニ致度。

通一二三三六　呂一日ケ十一（日）呉　大内（森澤）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

昭和二十年五月廿七日

五二二　受信　二三五九　譯始　〇〇二〇　譯了　〇一四〇　電一一〇〇九四　電一一〇〇九五　作

至急　（宛）一〇二戦隊ト

（発）鮮南哨戒部隊　（報）海護総部隊指揮官・一護衛艦隊ト・九〇一空ト

（傍）

機密第二二一七五〇番電　二分ノ一、二

数日来五島列島南方及其ノ西方海面ニ敵潜出現漸次我カ哨戒艇帯ニ近接シツツアリ敵ハ我カ九州方面ヨリ南西諸島ニ対スル増援ヲ抑止スルト共ニ我ガ南鮮航路攪乱ノ任ヲ各方面部隊ノ積善大ト判断ス各哨戒部隊指揮官ハ月明ヲ期シ味方航空部隊ノ哨戒強化ニ対応シ（部）信及哨戒要領ヲ適切ニシモ必ズ掃海隊ノ態勢強化ヲ以テ本作戦目的達成ニ遺憾ナキヲ期スベシ。

通一二三六〇　通一二三六九　天二日分十一（五三〇〇〇）　佐通　横通　田中（上等）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

昭和十九年五月廿七日

五二三

受信 一〇二〇　發始 一二一五　發了 一三五〇　電 一一二二三　一一二二四　作職　参本

（作）

三〇根 Ⅾ

三〇根戰闘機報告信所。五航空隊Ⅾ。先遣部隊Ⅾ

ヤツプ航空基地。四五警備隊

機密第二二一七五四番電　二分ノ一、二

三〇根戰闘機報（五月二十二日）

一、ＰＰ附近行動敵艦船〇五二〇油槽船一（千五〇〇噸級滿載）コスソル水道出港

二、視界內敵艦艇碇泊狀況

（イ）コスソル水道大型輸送船五、小型輸送船三、大型油槽船三、小艦（口）

艇一二

通一二五五六　呂一Bラ十四（一五七一〇KC）三進　小森（吉井）
一二五五七

527

0125

(ロ) PPP周邊掃海艇三、(ハ)小艇七

三、昨二十一日一八四五ヨリ〇一四五迄敵機七機〇六四五ヨリ一六四五迄F四U−一、八機　TBF−一、一機　計一六機PPニ來襲銃爆撃

四、敵機PPP發着　昨二十一日二一三〇大型機二一〇度ヨリ着本二十二日一六〇〇迄艦戰機一七、九〇度（一一、一八〇度（一六、二七〇度（發三、九〇度ヨリ六、一八〇度ヨリ二九、二七〇度ヨリ着B−二四、二、六〇度ヨリ着　B−二六、一、九〇度ヨリ着

五、昨二十一日二一五〇敵機ノ爆撃ニ依リ二六一空下士官三、兵三戰死。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0126

昭和廿年五月廿七日

五 二二 二三 受信〇三四〇 訳始〇〇二〇 訳了〇二四〇 電一一三九一 作戦 流本 〇

至急

(発) 鎮海警 尸

(宛) 海軍総隊尸

(通) 大海参一部・海上護衛総部隊各尸ㇵ

暗号 機密

機密第二二一九〇二番電

五月二十二日敵機来襲概報

一、自一一〇〇至一五〇〇PBM四機PB二Y二機黄海東部沿岸及済州海峡

二、商船一「巨文島」丸沈船火災・

（東通註 二ノ次ニ「被害」続作シアルモノト認ム）

通一二三六四 天二Dケ十一（B）呉 泉川（雨 谷）

528

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0127

昭和[illegible]年五月廿[illegible]日

二三 受信 〇〇一五 訳始 〇二〇五 訳了 〇三四五 ・ 電一一〇三一 参作 本概

南東方面部隊戦闘概報着信綴所

機密第二三二〇三二番電

R方面部隊戦闘概報一二八號

一、二十一日午前B－二五 二五機花吹出島東岸B－二二 六機RRA

二十二日午前B－二五 九機花吹出島北部B－二四 六機OFI夫

〃帰還十九日夜中到一 二十日B－二五延四機二十一日B－二五延夫

四機P四U－一 二機PBY－一 一機二十二日B－二五延六機夫

〃常時RR及週邊旋回各所観望投弾

二、被害 無八海軍病院病舎一全壊ス戦死二二名重傷三名。

渦一二三七二 呉一Bラ八（一二三〇）八週 [illegible]山（松山）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

（昭和十六年五月廿七日）

五　二三　受信〇五一六　訳了〇九二〇　暗一一三〇八　諜通
訳始〇七五〇

略　十一　根　▷　530

㊙　南支那海方面特別情報著信監所

機密第二二二〇五〇番電　二分ノ二

(1) 本旬ニ於ケル非島米空軍又其ノ主力ヲ臺灣方五師系及ボルネオ北部（二一三師系）ニ指向セル外南支沿岸飛行場ヲモ攻撃セリ佛印方面ニ對シテハ十三日以降大規模ノ出撃ヲ見ズ（醐島空軍NSZ情報報告ニ依ル）

(2) 本旬中顕著ナル兵力移動ヲ見ズ。

通一二四六一　呂一日ケ八（六二三五心）十通　西原（酒巻）

0128

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

昭和十八年五月廿七日

五　二三　受信一一一五　譯了一二三五　電一一一八九　作〇

（共）　待

（宛）一潜水部隊・六三一空

（報）大海参一部・聯合艦隊司・各鎮司・各警司
東通

機密第二三〇八四五番電

先遣部隊電令五八號

第一潜水隊ハ準備出來次第内海西部發日本海方面ニ於テ單獨訓練?

故ニ青嵐?トノ綜合訓練ニ從事スベシ・

通一二五六八　呂一Bヶ十一（五二九五四）六F司旗

勤（川崎）

531

0129

昭和廿年五月廿八日

五 二二四 受信二三四八 譯始〇一一〇 譯了〇三一〇 電一一九八九 一一九九〇 作戰 航本 機〇

至急

(宛) 九〇一空總派遣隊

(報) 海上護衛總部隊・指揮官・九〇三航空隊・九五一航空隊・一護衛艦隊・一〇二戰隊

(發) 九〇一航空隊

機密第二三一五一〇番電 二分ノ一、二

沿岸ヨリ五二浬

一、各隊ハ所在零式水偵ニ對シ左記電探電話アリ空中線ヲ展張對潜艦艇ニ對スル訓練ヲ實施スベシ

(イ)主翼縁先端ト尾翼及分圓板前縁先端トヲ長合紐ニテ連結

(ロ)發放絡縁管上端ヨリ約三米空中線及(イ)項長合紐ノ中央實射展張ス

展張ハ左右對稱ニ實施略T型空中線トス

(ハ)空中線ヨリ電話機迄ハ一型固定空中線ニテ可

通 一三三五三 一三四四三 呂一Bケ一一(B)譯通 小原(小澤あ)

(一)

0130

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

(ニ)別ニ垂下空中線ヲ約四捲下シ之ト前記固定空中線兩間ニ切換裝置

(ホ)以上ノ如ク裝備シ發話ハ固定空中線ニ依リ受話ハ垂下空中線ニ依リ行フモノト斷定ス前記空中線ヲ使用シ海防艦八號ニ對シ實驗ノ結果交話能力ハ一一浬當時一〇浬ノ成果ヲ得タリ。

（冒頭註　本電誤字多キ爲遲延セリ）

0132

五　二三

受信　一七二一　譯始　一八一五　譯了　一九〇五　電一一三五四

昭和廿年五月廿三日

航作機　533本〇

着　一〇一航空戰隊P・一〇八一空

報　東　通・一〇航空艦隊P・横鎮P・三〇二空

發

機密第二三一五一一番電

發　GB參謀長

通報　大本營海軍參謀部第一部長　軍務局長　航空本部總務部長

敵小型機ノ來襲増加スルニ鑑ミ一〇八一航空隊厚木所在ノ大型機ハ當分ノ間霞ケ浦基地ニ於テ整備ノコトニ準備ヲ進メラレ度・

通一二七二一　呂一Bケ十一（B）GFP　近藤（阿波）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

昭和十九年五月廿八日

五二三　受信一八〇九　譯始一八二五九　譯了一八四五　電一一三二五　作機〇

緊急　發　鹿屋航空基地

宛　天航空部隊作戰命令着信艦所。南西空。小祿航空基地

機密第二三一五一六番電

一、先ノ敵機ハF六F一九TBF一五ニシテ飛行場及秋バ砲台ヲ銃爆撃一四四五　二六〇度ニ去ル何レモ増槽ヲ裝シアリ

二、F六F二〇〇〇米海上ニ一機監際F六F四之ガ上空旋回中

三、被害ナシ。

通一二七五〇　於一六（七八七五KC）一KFGB放　日高（福田）

534

（昭和十七年五月廿七日）

五二四
受信一〇八四 翻了一三一〇 電一一六八一 作戦 〇
翻始一一〇〇 一一六八二 参本

(発) 三〇根 ▷

(宛) 三〇根戦闘概報着信艦所
先遣部隊 ▷

(報) ヤップ空基地・四六警備隊
五航空艦隊 ▷

機密第二三一七五二番電 二分ノ一、二

三〇根拠地隊戦闘概報第四二号（五月二十三日）

一、PP附近行動敵艦船

(イ)〇六三〇ヨリ〇九三〇迄輸送船三（何レモ八〇〇〇噸級満載）
油輸船三?（八〇〇〇噸級満載甲板上飛行機一一機搭載）曳船一
小艦艇一?八入港

(ロ)一一〇〇大型輸送船九ウルクタベル島燈台ノ一〇〇度四〇粁
東進

通 一三〇〇一三
一三〇〇一四 ロ一ヨラ一四（一五七一〇KC）三通 (一)
西原（久保田）

535

二、視界内敵艦船碇泊状況

(イ)コスソル水道大型輸送船八小型輸送船三大型油槽船四小艦艇一

三

(ロ)PPP周邊掃海艇三小艦艇

三、昨二十二日一九一五ヨリ〇二〇〇迄敵機三 〇六四五ヨリ一七三〇
迄F四U－一延一六TBF－一 四P－三八 一計二四PPニ來襲

飛行場敵機PPP發着一一〇〇迄B－二四 二機九〇度ヘ一三輸送
機一八機九〇度ヘ九。一八〇度ヘ二五。二七〇度ヘ發八。〇度一八
〇度二七〇度ヨリ着。

昭和十九年五月廿七日

五 二三 發信二〇〇五 譯了二三一五 電一一四〇七 作本 機

(宛) 千島方面線 △

(發) 千島防備部隊戰鬪概報着信鑑所

機密第二三一八二〇番電

(作)

千防戰鬪概報「二七號（五月二十二日）

〇六〇〇B—三四 二機ロパツカ方面ヨリ高度五〇〇〇米ニテ近接擂鉢灣ニ侵入ノ後〇六五五桃山沖ヲ經テ 擂鉢灣附近ヨリ東方ニ避退投彈セズ、戰果被害ナシ。

注 一二七七二 天四B（ B ）大淩 河江（土谷）

536

0136

0137

昭和廿年五月廿七日

五二三 受信二一三〇 譯始二三一一 二四 譯了〇九四〇 電一一六三四 作總 参本

緊急 ㊙ 共 符

㊙ 東通・横通・聯合艦隊尸・三航空艦隊尸

㊙ 小笠原部隊指揮官

機密第二三一八三五番電

發 南鳥島守備部隊指揮官

着信者 横須賀鎮守府司令長官 軍令部次長 参謀次長

受報者 第一六潜水隊司令 七五二空司令

戰闘概報(五月二十三日)

一、敵潜水艦一隻〇九一〇ヨリ一六二〇迄二二〇度乃至三一五度潜没又ハ浮上ニテ本島偵察(潜没シ最モ近接セシハ五・五〇〇米)一六四六・一九三六約三〇・〇〇〇米ニテ浮上ノ儘視界外ニ去ル本日ノ敵潜ハ多數(一〇三〇ノ位置)ヨリ判斷一昨日迄出現ノモノ

(一)

通一三〇七二 呂一Bケ一一(五一〇〇KC)南鳥 西岡(小澤殺)

537

ト交代ヲ認ム

三、Ｔ二二〇Ｂ—二四、一機周邊偵察後退去セリ。

（東通註　本電開始符不明及誤字多キ爲遲延）

五 二三　受信 二一三七　譯始 二二三〇　譯了 〇二五〇 二四　電 一一五一四　課 通

昭和十六年五月廿七日

緊急

A情報着信所

支那方面艦隊 戸

機密 第二三一九〇七番電　二分ノ二

NR方面敵水陸両用作戦部隊指揮官ヲ中心トスル敵新策動ニ関聯アリト
認メラルル通信状況ハ依然活況輸送掩護持續セラル

(ロ)十七日以降前記指揮官トNSC上陸軍指揮官トノ通信連絡極メテ密接
ナリシモ二十日ニ至リ一應平静化セリ

(ハ)二十日以降NR潜水部隊艦船ト前記両指揮特ニ水陸両用作戦部隊指揮
官トノ関聯濃化シアリテ内一部英系空軍トノ通信連絡モアリ　二十二
日比島方面ヨリ後續部隊(相當數英米艦所ヲ含)NR方面區分近接中
ナル状況ナリ。

通 一二八〇八　呂一Bラ十八(B)大和田

川本(山中)

0140

昭和十九年五月廿七日

五 二四 受信〇二二四 翻始〇〇四三〇 翻了〇五四五 電一一四九九 作概〇 六

至急

（依）

暗号 通

呉通信理依頼 東通

機密第二三一九四三番電

發 舞鎮司令長官

宛 第十一潜水戦隊司令官 第十一水雷戦隊司令官

通報 呉潜水戦隊司令官 呉鎮守府参謀長 六F参謀長 対潜訓練隊参謀長

敵飛行機ニ依ル潜水艦攻撃状況ニ鑑ミ訓練基地トシテ第十一潜水戦隊ハ七尾北湾第十一水雷戦隊ハ七尾南湾（対潜訓練隊在泊シアリ）トスルヲ適当ト認ム（追）呉潜水戦隊ハ七尾北湾ヲ基地トスルコトニ取計ハレ度。

一（追補註）GFロツラ（潜）

通一一二九三五 ロ二十Bケ一一（B × 翻 昌 D（緑日）

0141

人

昭和十八年十二月十七日

五　二四　受信一〇一八　一五七九　訳始一一〇七　訳了一四〇五　自電一七〇四　至一七一〇　訳本

至　無　〇　共　符

大湊通・一千歳航空基地

大本営海軍部・大湊警口・聯合艦隊口

機密第二三二〇四三番電　九分ノ一、二、三、四、五、六、七

発　十九一師団長　千島根拠地隊司令官

宛　北部軍司令官　第一二航空艦隊司令長官

俘虜訊問報告（其ノ二）

現在迄ニ判明セル状況左ノ通

一、俘虜ハ「アッツ」陸軍第三爆撃中隊所属B－二五ノ搭乗者ニシテ本年一月中旬同地着今次千島来攻ハ第五回目ナリ（[illegible]官氏名

生年ノ[illegible]）

通[illegible]

一二九二三	一二九二六	一二九三〇	一二九[illegible]八
一二九六四	一三〇一八	一三〇一九	

呂二・B分十一（四〇七五KC）占通

（八一五〇KC）大湊通

B）

（一）

傍受　菅原・高橋　大塚（川崎）

翻訳　稲岡・森

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

パイロット少尉レイモンドビルイス一九二四タケビゲイター少尉ミルトンイザック一九二〇

三 敵ノ企圖ニ關スル資料(千根機密第二一一二〇八番電報)「アッツ」周邊一帶ニ於ケル捕虜見聞情況左ノ通

副長准尉エドワードエヌポロース一九二二兵器係伍長ウオルターペリー一九二一エンヂニヤー伍長ロバートエルラント一九二四

(イ)空母戰艦ノ所在セザルコト概ネ確實最近數隻ノ軍艦在泊セリト言フモノアルモ確度疑シ

(ロ)「アッツ」ニ於ケル船舶ノ行動狀況ニ變化ヲ認メズ

(ハ)島上部隊ノ狀況ハ殆ド知得シ非ラザルト稱シアリテ詳ナラザルモ大ナル變化ナキ模樣ナリ

三 國內ノ狀況ニ關シテハ從來ニ比シ大ナル變化ナシ在「アリユーシヤン群島」方面航空部隊左ノ通

（昭和十八年五月廿七日）

(一) 俘虜所属第七七爆撃中隊ハ第二八爆撃飛行団ニ属シ第一一飛行師団ニ編入サル第七七爆撃中隊（在「アッツ」B－二五約三六機）第四〇四爆撃中隊（在「セミチ」B－二四 一二機以上）第五四戦闘中隊（在「アッツ」八六「セミチ」P－三八又ハP－四〇ナルモ機種機数不明）

(2) アッツ島ニハ海軍機WVIPBY存在ス

(3) 輸送機C四七ハ荒天ヲ除キ毎日一乃至二機（人員及郵便物ノ輸送ヲ主トス）ヲヤスコニ離着陸ス

(4) B－二九ノ基地状況ニ関シテハ現在ノ處不明ナルモ「アンカレヂ」ニテ一機飛翔セルヲ目撃セリト（「トラント」爆弾庫銃撃通定セリ）

(ホ) 来襲機ノ攻撃状況其ノ他

(ヘ) 来襲機ノ攻撃ハ艦船ヲ主目標トスル如ク指示サレアリ

(ト) B－二五ハ主トシテ超低空攻撃ヲ採用シアリト

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

(二)撃墜機ノ攻撃目標ハ蘭ノ間電探ニシテ電探及附近ノ極メテ詳細ナル空中寫眞ヲ所持ス
尚占守島太平洋岸及海峡地區ノ詳細ナル軍事施設ヲ撮影セル空中寫眞ヲ所持ス

(三)本機ハB-二五J型ニシテ十三粍機銃一三ヲ有ス電探ナシ
機材及装備器材ノ損傷少クシテ技術的ニモ有利ナル資料(通信暗號關係文書共)獲得セリ
右ノ資料ニ依レハ綏母(GURISHIP)ノ位置ハ常時北緯五二度東經一六二度附近ニアルモノノ如シ。

(直通註、本電「轉置號」ナシ)
(電信課註、本電九分ノ八、九未着)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0145

（昭和十九年五月廿四日）

五　二四　受信一七四五　譯了一九五五　電一一八二〇　参作
発信一八一〇　発　三〇根　Ｄ　本機〇

宛　三〇根戰鬪概報着信艦所・護衛艦隊旗艦・先遣部隊旗艦
報　ヤップ航空基地・四六警備隊

作

機密第二四〇八一〇番電

ＰＰ附近行動敵艦船速報（五月二十四日）

一、〇五三五輸送船ラシキモノ二〇以上小艦艇三アルコルン燈台ノ一一〇度水平線北上中

二、〇六一〇ヨリ〇六四〇迄輸送船六（八千噸級満載五甲板ド積荷アルモ詳細不明千五百噸級満載一）油槽船一（八千噸級満載）小艦艇二コスソル水道出港

三、〇六一〇輸送船一アルコルン燈台ノ七〇度二〇浬コスソル水道ニ向ヒ航行中小艦艇二コスソル水道入港。

通一三二六〇　自一８ラ十四（一一五七一〇KG）三過　日[illegible]原（[illegible]）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

昭和十三年五月廿七日

五二四　受信　二二〇四七　訳始　二一四六　二五　訳了　二二六〇三　電　一二二九五　一二二九六　作機〇

緊急　発　厦門特根Ｐ

宛　大海参一部。高雄警備府Ｐ・二遣支艦隊Ｐ

通　馬公特根Ｐ・基隆、台北各在勤武官・支那方面艦隊Ｐ

機密第二四〇九一三番電

米潜水艦一隻発見?砲錨警?後戒京ニ?横村臨検ヲ受?ク戒京証組中土人?一?名後甲板?ニ運行迅?問ヲ受クル迄意味不?解

敵潜情報?二十二日?

一、ア?発?武工作戒克第二?丙コウ丸ハ搭載砲搭載ノ為五月?十三?日基隆ニ向?ケ

二、五?月?十?七日〇九〇〇「キールン」沖?約四〇浬?ニ?テ

三、臨検中ハ敵飛行機上空ヲ哨戒セリ

四、支那漁船ト称シ釈放セラレ米タバコ罐詰類ヲ与ヘラル

五、台湾寄港ハ禁ジ単独支那大陸行ヲ命ゼラレ五月二十三日厦門ニ帰投セリ。

（[illegible]誤字[illegible]メテ多シ）

[illegible]（一四七〇五〇）高[illegible]

局長　オ木（[illegible]）

543

0146

0142

五二四

受信一三一〇〇
譯始一六四〇

譯了一八一五　電一一八七一　作戦〇二

日二

昭和十八年五月十七日

544

着
共
発　先遣部隊

特號取扱

機密第二四一〇五八番電

発　第六艦隊参謀

一、特定地名符字表（軍令部軍極秘第二五號）ノ實施期日ヲ六月一日ト定メラル
前號特定地名符字表未着ノ向ハ六月一日以降當分ノ間特定地點略語表（甲）（軍令部軍極秘第一四四號）（同補註ヲ含ム）ヲ使用此ノ場合當該符字ノ上ニ数字符「九」ヲ冠スルコトニ定メラル。

通一三一八六・占一ヨケ十一（五二九五〇）六日放　見玉（大尾）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0148

昭和拾七年五月廿八日

五　二三五　受信〇三二 譯始〇四三五　譯了〇七〇〇　電一二〇九四 一三〇九五　作機〇

(作)

秘
東京通信隊・支那方面艦隊Ｆ・二遣支艦隊Ｆ
基隊、臺北各在勤武官・?

秘　廈根Ａ

機密第二四一一二四三番電　二分ノ一、二

着信者　大海参謀部第一、第三部長

一、馬祖島民軍五月十九日〇三三〇隠密裡ニ逐次撤退セリ

二、撤退先三都澳ト臺山島北茭?桐?黄[illegible]

三、撤退原因陸軍ノ撤収ニ伴フ米軍進攻ヲ虞レタルモノノ如シ陸軍ニ報告セズシテ撤退セリ

四、川石島方面ノ敵動向ヲ見極メ成ルベク速ニ兵力一個小隊ヲ川石島ヨリ馬祖島ニ分派シ同島ノ見張警戒ニアタラシメ臨港・

通一三五〇六 一三五三〇　天二三Ｂケ一一（七四六五KG）（四七〇五KC）上陸 高通　初本（細川）

545

0149

五 二二 五四 受信二〇一九 訳始〇〇三〇 訳了〇四二〇 電一二〇四七 作戦

㊙ 横鎮部下艦所

㊙ 横鎮 戸

機密第二四一三三〇番電

横鎮戦闘概報（五月二十三日）

一、列島線ヲ北上セル敵B－二九約二〇〇機ハ〇一一三頃ヨリ約二時間ニ亘リ御前崎附近ヨリ本土ニ侵入東京南部及關東北部（一部静岡地區）ニ焼夷弾投下〇三四五頃迄ニ九十九里濱方面ヨリ脱去セリ

二、交戦状況

横須賀海軍航空隊月光一機彗星一機第三〇二航空隊月光八機彗星七機零夜戦三機銀河二機ヲ西南部土地ニ配備シ之ヲ邀撃ス（高度二五〇〇乃至三〇〇〇米）

通一三三五八 呂一B（二五五七、五KC）機通 西岡（五島）(一)

昭和廿年五月廿六日

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

三、戦果 撃墜八機内一機體當（三〇三空）撃破九機外ニ命中彈ヲ與ヘタルモノ三機

四、被害 自爆一機體當リ（三〇二空）。

0151

五　二五　受信 發始 〇〇二〇一五　了〇三四〇　電 一二〇〇二七六　作 本 総〇

（発）西海空（大分航空基地）　（着）大村航空基地

（報）東通・笠ノ原、鹿屋各航空基地

機密第二四一七〇五番電　三分ノ二三

二十日午前大村基地解隊ニ付兵力タルベキ西海空ニ依ル派遣隊離散豫定者（一〇五四名）ノミニシテ他基地ニ派遣餘力ナキニ付岩國基地派遣員ハ別途研究アリタシ尚今次大村空解隊ニシテ大村基地ハ作戦基地トシテノ軍要性ヲ倍加セルモノニシテ現ニ近日中ニ総監飛行場並ニ之ガ周邊ノ航空基地編成ノ運ビトナリアリ又ニ西三空其ノ他配備兵力ノ増加ニ伴ヒ寧在大村基地警備兵力増加ノ要アル次第ニ付認識ヲ改メラレタシ。

（本電三分ノ一未着）

電信課註

逓 一一三三 三三五四 一三國六八

呂一四ケ一一（七八七五KC）一KFGB 放

羽金・長谷川（未見）

547

昭和廿年五月廿八日

（昭和十九年五月廿四日）

五　二四　受信二一一二　譯了二二五〇　電廿一九一四　航機作戦

至急　譯始二一五〇　本政〇

（宛）大臣　（發）佐通

機密第二四一七一三番電

發　佐世保工廠長

通報　艦政本部長

本二十四日一三二三B－二九　一機ノ奇襲爆撃ニ依リ主トシテ造機外業場附近十箇所被彈アリ二五〇K程度施設機械ノ被害輕微ナリ死者九名重傷者二〇九名。

通一三三五五　呂一Bケ十一（四〇四五KC）佐通　笹沼（淺岡）

0152

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0153

昭和廿年五月廿八日

五 二四 受信二〇三〇 訳始二一二五 訳了二二〇〇 翻一二〇三四 作 極

至急 発 佐世保鎮守府

受 東通

親 各鎮FP各警FP・五航空隊各FP

作

機密第二四一七四五番電 二分ノ一

大臣 GB FP 官
総長
通報 監 政本部長 佐鎮

戦闘概報(五月二十四日)

一、PB四Y—一 二機一〇三〇南西方ヨリ佐世保西方海面ニ来襲江ノ島附近ニ於テ小型船舶攻撃ノ後北進対島南鮮方面ヲ経テ南西ニ脱去ス。

(電信課註 本電二分ノ二未着)

発一三三三一 受一ト ケ八(四九一五KC) 佐二族 村尾(小幡)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0154

昭和廿年五月廿[illegible]日

五 二五 受信〇七二二 譯始〇八〇〇 譯了〇九一〇 電一二二九 作機

至急

（発）佐鎮尸

（着）東通

（宛）各鎮・各警・第五航空艦隊各尸

機密第二四一七四五番電 二分ノ二

一、第三四三航空隊戦闘機二〇機発進セルモ捕捉スルニ至ラズ戦果ナシ被害小型船舶一隻沈没二隻炎上

二、B－二九 二〇機一三二一北西方ヨリ佐世保ニ来襲工廠ニ投弾ノ後南西ニ脱去ス戦果ナシ被害人員死者九名重傷約三〇名施設損害軽微。

（電信課註 本電二分ノ一既配布）

通一三五九三 呂一Bケ八（七八七五KC）一KFGB放 福山（猪狩）

作

550

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

昭和廿年五月廿八日

五 二四 受信二〇二〇 譯了二二四〇 電一二〇二四 作概〇
譯始二一三〇 電一三〇二五

緊急

㊞着 七艦隊 各 △
㊞發 海軍總隊▢。呉鎮▢

機密第二四一七五四番電 二分ノ一二

發 第十一水雷戰隊司令官
通報 第十一水雷戰隊參謀
當隊（酒匂及一驅逐艦六隻）明二十五日周防灘第二航路ヲ經テ一七五〇南水道ヲ通過酒匂及驅逐艦二隻ハ兜山岬ノ北西方一粁附近ニ假泊假泊地ノ高潮時北九州水道通峽ノ計畫ナル所左記至急通知ヲ得度

一、周防灘第二航路（主トシテ萌茂尻島脚ノ島間）ノ掃海狀況

二、北九州水道ニ於ケル正確ナル沈船ノ位置及沈船ノ有無及北九州水道ニ於ケル沈船ノ位置ニハ燈火ヲ設置ノコトニ取計ヲ得度。

通 一三三一五
一三三二三

呂一 B ケ十一（B）呉通

村山（淺岡）